



みなさま、こんにちは。

日本医師会の会長をしていた横倉義武と申します。今回、横田裕行代表理事はじめ役員の皆様のご推挙により、本会の名誉顧問に就任する事になりました。

この会は医師会活動の中で共に在宅医療や地域の医療連携を推進してきた、前東京都医師会長の故野中 博先生が設立に大きなお力添えをされたとお聞きしています。会員の皆さまの在宅で療養されている患者さん方へのご努力に少しでもお力になればと思い、就任をさせて頂きました。

高齢化するわが国の医療において、在宅での医療の提供は多くの人々の安心につながっています。しかし、在宅で療養する方の中には、治療中の病状の急変が起きたり、新たな感染症に罹患されたり、転倒等による損傷を受けたりなど、救急治療が必要になります。その状態にどの様に対応していくか、地域ごとに医療資源は異なりますので、おかれた状況により対応は異なってきますが、日頃から地域の連携の中で解決を図っていかねばなりません。

この会は「在宅医療現場で発生する様々な疾患の急性増悪に対して適切に対応するための検討を行い、さらに、救命できるケースに関しては救命するための検討を行い、在宅療養支援病院をはじめ救急病院で患者の状態に応じた救急医療を行うために必要な情報共有システムの検討、また、大きな枠組みでの在宅医療と救急病院の連携の研究・検討を行い、安心感のある在宅医療の普及を行うこと」を目的とかがげられています。今後増加していく在宅療養を受けられる皆さま、従事される皆様の一助になれば幸いです。